

この号の内容

1 イタリア モーターバレーで誕生する新しい超音速ジェット: Fly Concorde プロジェクト

2 EU 支部だより

・コンコルド

・エミリア・ロマーニャ州



・モーターバレー

・カーボンニュートラル



イタリア モーターバレーで誕生する新しい超音速ジェット

: Fly Concorde のプロジェクト IL NORDEST QUOTIDIANO 18.2.2025

長い間途絶えていた商業用超音速飛行が、再び現実のものになるかもしれない。アメリカのスタートアップ企業 Fly Concorde(本社:シアトル)は、新しい超音速旅客機の製造拠点として、イタリアのエミリア・ロマーニャ州にある「モーターバレー」を選んだ。

モーターバレーという名前は、この地域に集まる世界的に有名な自動車ブランドからきている。ここには、フェラーリ、ランボルギーニ、マセラティ、ドゥカティ、パガーニといった名だたるメーカーが拠点を構え、エミリア・ロマーニャ州は高性能モーターテクノロジーの象徴となっている。

かつてのフランス・イギリス共同開発の超音速旅客機 コンコルド は、パリとニューヨークをわずか3時間半で結ぶ革新的な機体だった。しかし、2000年に高い運用コストや「ソニックブーム(衝撃波)」による規制の影響で運航を終了。現在、新しい素材や環境に優しい燃料の活用により、再び超音速飛行の夢が動き出している。

このプロジェクトを率いるのは、Fly Concorde の創業者であり CEO の パノ・クロコ・チャーチル氏だ。同氏は「Concorde SuperSonic Aviation は、イタリアの名だたる高級自動車メーカーの近くで生産を開始します」と発表した。また、「私たちの目標は、農業廃棄物から作られる SAF(持続可能な航空燃料)を使用した環境に優しい超音速機を開発することです」とも述べている。

もしこのプロジェクトが実現すれば、モーターバレーは自動車産業だけでなく、超音速航空技術の新たな中心地としても注目されることとなるだろう。伝統ある高性能エンジン技術が、新たな未来へと進化していく。

EU 支部だより 一日伊の技術と情熱の結晶！？—

イタリアの「フライコンコルドプロジェクト」。その響きだけで、未来の扉が開くような気がしませんか？この革新的な取り組みは、イタリアのモーターバレー、つまりフェラーリやランボルギーニなど世界的なブランドが生まれた地でスタートしました。この地域は、単なる産業地帯ではなく、アイデアと情熱が交錯する場所なのです。

このプロジェクトに対するイタリアの人々の反応は、期待と誇りに満ちています。特に、モーターバレーの住民や技術者たちは、自分たちの地域が再び世界の注目を集めることに大きな喜びを感じています。また、環境問題への意識が高まる中で、このプロジェクトが持続可能な未来を切り開く鍵になると信じている人も多いです。一方で、プロジェクトの実現可能性や経済的な持続性について慎重な意見も見られますが、それでも多くの人々がこの挑戦を応援しています。

さらに、このプロジェクトの面白さはイタリアだけに留まりません。実は日本とも深い関係があるのです。なぜなら、日本は環境技術や精密工学で世界をリードしており、両国の得意分野が見事に補完し合うからです。イタリアが持つ洗練されたデザインと革新力、そして日本が誇る精密で環境に優しい技術が手を取り合うことで、まるでワインと和食と一緒に楽しめるような、美しく調和した新しい体験が生まれるのです。

このプロジェクトが目指すのは、単なる技術革新ではなく、地球に優しいカーボンニュートラル社会の実現、そして未来の移動手段を再定義することです。例えば、空を静かに滑るように飛ぶコンパクトな機体を想像してください。それが日伊の技術と情熱の結晶として実現するかもしれません。

フライコンコルドプロジェクトは、イタリアと日本の友情が未来を築く象徴ともいえます。この壮大な挑戦が、私たちにどんな新しい風景を見せてくれるのか、期待せずにはられませんね。(松原)